

## 平成 18 年度 第 4 回意見交換会報告

日時： 平成 19 年 3 月 3 日（土） 13:00 ～ 16:00

場所： T K P 御茶ノ水ビジネスセンター

出席者（敬称および所属略 順不同）：

中野 肇、吉栄康城、中後昌久、上野 穰、塩原明彦、片山泰人、五十嵐英則、北沢、久保田はる子、久保田豊秋、平林憲次、宮下才知、岡本光宏、大木智子、村岡尚紘、片山正顕、榎本崇浩、荒川航平、長内悦子、西 栄子、小坂芳雄、伊藤英武、

以上 22 名

### 1. 講演報告

第 2 回（大阪開催）が好評であったので、東京でもほぼ同じ内容で開催した。

演題「人間のにおいの認知 一脳活動に及ぼす認知要因一」

講師 坂井信之殿（神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科）

人間の認知システムの特性、においの認知と脳活動、におい環境と生活の質の向上について講演された。ジュース、アイスクリーム、寿司およびペットボトル入りお茶等の例を用い視覚的に捉えた状況や先入観などによりインプットされた情報で人の感じるおいしさが変動することについて説明された。人の欲求や気分・記憶に対して満足されることや先入観との対比などによって、においは評価されるので個人により異なることも説明された。においの感受には個人差があることを fMRI による応答計測の事例を用いて解説された。視覚刺激では同じ部位が活性を見せているが、においについては個人ごとに違う部位が活性化されている画像が示された。

においに対するイメージをあらかじめ教示されていると、その先入観により快・不快の感じ方が影響を受けることについて事例を示し説明された。また、同様に順応に対しても影響を与えることが説明された。

においに対する先入観として、ある条件付けで発生したにおいが記憶され、同じにおいを感じたときにその記憶がトップダウン的に思い起こされることが説明された。

結びの言葉として次のように述べられた。

質の高いにおい・かおり環境は、人の生活の質（QOL）の向上に貢献できる。

悪臭の対策はもちろんのこと、よいかおりについての研究・施策を進めていく必要がある。すべての人がよいにおい・かおり環境で生活できることを願っている。

### 2. 当会の活動状況等の説明及び自由討論

事務局より協会及び当会の活動状況が報告された。

- 協会事業である臭気対策アドバイザー事業の現状が説明された。
- 当会の事業及び来季に向けての状況が説明された。つぎのことが話題となった。
  - 1) 事務所移転
  - 2) 専任事務局の設置、協会からの完全独立
  - 3) 当会の PR 方法
  - 4) 会員勧誘方法
  - 5) 回答集販売と受験者支援
  - 6) 講演活動 など